

広報 Public relations of mikawa town

みかわ


令和3年
2021

4

No.770
April

Contents

- ▶ 令和3年度三川町施政方針と予算
- ▶ 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種が始まります
- ▶ 子ども広場(押切小学校)
- ▶ 三川町地域包括支援センター事業のご案内
- ▶ 地域おこし協力隊のつづき(最終回)

 あふれる笑顔 みんなが住みやすいまち ハートフルタウン **みかわ**



入学式に桜咲く

東郷小学校の校庭(4月8日)

令和3年度 三川町施政方針と予算



町議会3月定例会で、今年度の町政の基本となる令和3年度施政方針を阿部誠町長が示し、予算が決まりました。その内容についてお知らせします。

阿部町長より



私が町政執行の重責を担わせていただいているから18年が経過しました。

この間は常に「町民の目線に立った対話」、そして「町民と向き合う町政」という基本姿勢のもとに、協働のまちづくりを目指し、安全・安心で住みよい町、町民の健康と福祉の向上、教育および子育て環境の充実、さらに、産業の振興に鋭意取り組んできたところであります。

本年度は、令和3年度から今後

10カ年のまちづくりの指針を定めた「第4次三川町総合計画」の初年度にあたります。これまでのまちづくりを継承・発展させることを基本としながら本計画の推進を図り、各施策に取り組んでまいります。

現在、本町を取り巻く環境は、少子高齢社会や地方分権社会の進展に加え、新型コロナウイルス感染症への対応など、迅速かつ適切な行政課題への対応が求められています。

このような中、町民の皆さまとの対話を重視し、課題一つひとつに的確に対処しながら、行財政改革をさらに推進していくとともに、町民の福祉向上と町政の発展を目指し、誠心誠意、最善の努力を尽くしてまいります。

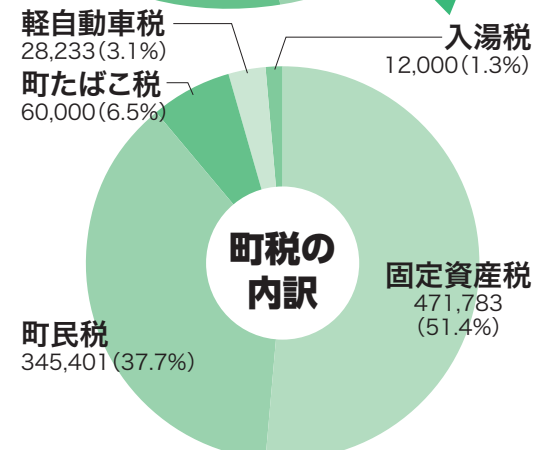
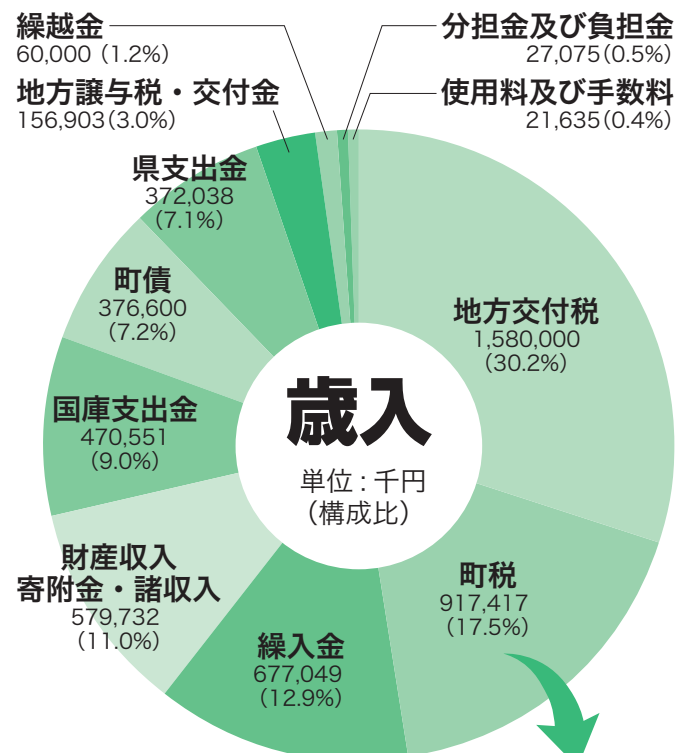
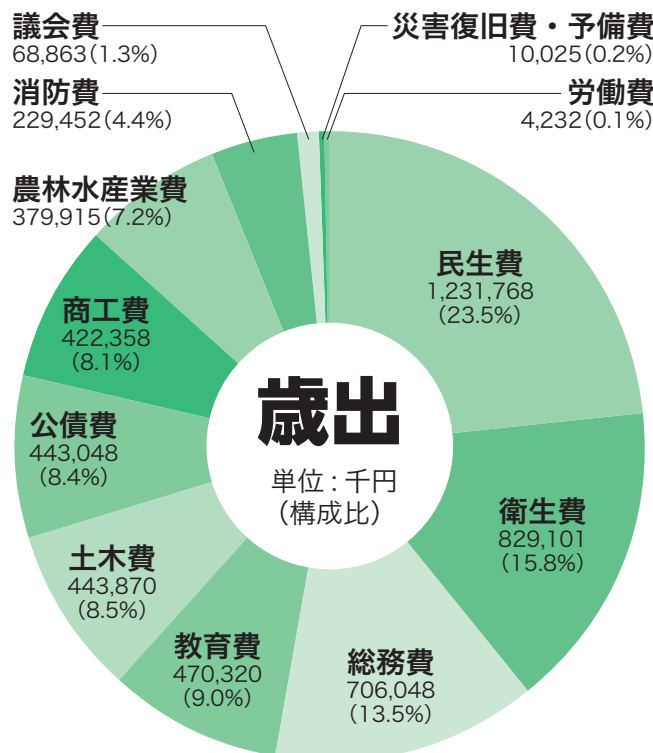
町民の皆さまのより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



令和3年度町の予算は 52億3,900万円

一般会計予算 前年度比 2.9%減

本町の令和3年度一般会計予算は、52億3,900万円で、前年度に比べて1億5,600万円の減額(2.9%減)となっています。



●特別会計予算

会計名	令和3年度予算	令和2年度予算	対前年度比
国民健康保険	6億6,740万円	6億9,160万円	△3.5%
後期高齢者医療	8,730万円	8,860万円	△1.5%
介護保険	8億6,440万円	8億7,390万円	△1.1%
農業集落排水事業	1億5,990万円	1億7,000万円	△5.9%
下水道事業	3億6,950万円	3億7,400万円	△1.2%

●基金の状況 (令和3年1月1日現在)

財政調整基金	4億3,584万円
減債基金	6,776万円
教育施設整備基金	1億3,682万円
ふるさと基金	5億6,347万円
国際交流基金	1,209万円
温泉施設基金	6,514万円
リーディングファーマーズ銀行基金	302万円

●令和3年度への繰越明許事業の内容

豪雪災害等対策事業	74万円
下水道事業	1,160万円
基幹水利施設ストックマネジメント事業	1,712万円
橋梁長寿命化対策事業	2,050万円
公共施設等長寿命化対策事業	2億2,916万円

令和3年度町政のポイント 「第4次三川町総合計画スタート」

本年度からスタートする第4次三川町総合計画では、「あふれる笑顔 みんなが住みやすいまち ハートフルタウンみかわ」をまちの将来像に掲げ、町民のだれもが安心して暮らせるまちづくりを進めます。

次ページからは、今年度本町が重点的に取り組む施策を、総合計画で定めた基本目標ごとに紹介します。

基本目標①

将来にわたって活躍できる人を育むまち



ZoomUp

- 子育て
- 学校教育
- 社会教育



子育て世代の負担軽減
 出産祝金の支給、中学生までの入院・通院医療の完全無料化を継続します。

母子の健康の保持増進

母子健康包括支援センターによる妊娠・出産・子育て期にわたる切れ目のない支援の拡充を図ります。



テオトルを交流の新拠点に

昨年7月にオープンした子育て交流施設テオトルは、子育て支援センターと児童保育所としてだけでなく、芸術文化活動・地域交流活動の拠点として活用していきます。

GIGAスクール構想に基づく教育

昨年度、町立小・中学校に整備した校内通信ネットワークや児童生徒1人に1台のタブレット端末を活用し、ICT教育の充実に取り組みます。

コミュニティ・スクールを

教育の核に
 昨年度、3小学校に設置したコミュニティ・スクールについて、地域の方々の協力のもと、地域に開かれた教育環境の整備を進めます。

その他

- ▼新たに開園する認定こども園を含む、民間と公立の3園の連携による多様な保育ニーズへの対応
- ▼芸術文化協会や体育協会・総合型地域スポーツクラブ等との連携による芸術文化・スポーツの振興

基本目標②

いつまでも健康で安心して暮らせるまち



ZoomUp

- 健康福祉
- 社会保障
- 防災



地域共生社会の実現に向けて

住み慣れた地域で、誰もが生き生きと自分らしく健康に暮らし、全ての人々が助け合い、支え合いながら暮らすことのできる「地域共生社会」の実現のため、町内会、老人クラブ、社会福祉協議会などの各種機関・団体との連携を強化します。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、町内会、老人クラブ、社会福祉協議会などの各種機関・団体との連携を強化します。



地域防災力の強化

昨年の7月豪雨の教訓を踏まえ、各関係機関等との情報共有、連携強化を図ります。さらに、町内の自主防災活動を支援し、地域における防災力の強化を推進します。

また、消防活動では、消防団員の確保に努めるとともに、担い手不足の解消を目的とした機能別団員制度を活用し、消防団活動の強化を図ります。

その他

- ▼健康マイレージチャレンジの実施
- ▼健康づくり相談・訪問指導等の実施
- ▼介護保険事業の適切な運営
- ▼在宅医療・介護の一体的サービスを推進
- ▼防犯灯のLED化の促進
- ▼警察署や防犯協会・交通安全協会等との連携による防犯・交通安全対策



基本目標③

創造力にあふれ
豊かさを実感できるまち



ZoomUp

- 産業振興
- 観光振興
- 地域交流



農業所得の向上を推進

全国屈指の米どころとして良質米の安定的な生産・供給を維持できるように、ICT技術を活用した「スマート農業」による効率化や、農産物の高品質化を目指す土づくりを支援します。また、こだわりの米づくりのほか、園芸作物等の作付面積拡大を支援し、経営の多角化を進めるなど、農業所得の向上を目指します。

町の魅力を全国に発信

ふるさと応援寄附金制度の活用により、本町の魅力全国に発信し、三川町を知ってもらい、訪れてもらえる機会となるように推進します。

地域経済の活性化

例年開催している季節ごとのイベント等を、創意と工夫により、できる限り開催し、交流人口の拡大と賑わいの創出、地域経済の活性化を図ります。

いりり火の里施設については、コロナ禍に対応した集客イベントの開催や地元住民の利用喚起につなげる取り組みを支援し、収益の増加を促進します。

また、感染症の影響を受けている中小企業等に対し、プレミアム付商品券の発行を含むさまざまな支援を行います。

その他

- ▼農業の担い手育成推進
- ▼観光協会や町内事業者等との連携による新たな特産品開発
- ▼みかわ産業団地等の拡張

基本目標④

未来に向かって
継続し発展するまち



ZoomUp

- 住環境整備
- 町民参画
- 行財政改革



「パルク赤川」を利活用

かわまちづくり整備事業により整備を進めてきた「赤川河川緑地ふれあい広場」は、多くの方々から親しみを持って利用してもらえよう、愛称を「パルク赤川」としました。快適で安全性の高い公園、緑地として、本町の新たな賑わいの場となるよう多面的な活用を推進します。

協働のまちづくりを推進

町内会活動の支援や、町民、事業所等の多様な主体との連携を促進するとともに、広報広聴活動による町政情報の提供と共有に努めながら、住民ニーズの把握と地域課題の解決を図ります。

効率的かつ効果的な行政運営

行政事務の多様化や高度化に対応していくため、デジタル社会の進展を踏まえた情報通信技術の活用を進めます。

また、職員研修や人事評価制度の活用などにより、職員の資質向上に努め、行政サービスの向上を図ります。

その他

- ▼多様なニーズに対応した住宅政策の展開
- ▼空き家の利活用推進
- ▼関係機関との連携による治水対策の推進
- ▼桜木地区住宅地開発の推進
- ▼雨水排水対策の推進



65歳以上の方へ

新型コロナウイルス感染症 ワクチン接種が始まります

新型コロナウイルス感染症の発症を予防し、死亡者や重症者の発生をできる限り減らすため、本町でも町民の皆さまに対するワクチン接種の準備を進めています。ワクチン接種は、ワクチンの供給量が限られていることから、国の方針により65歳以上の高齢者の方から行います。

今回は65歳以上の方に対する接種方法を中心にお知らせします。65歳未満の方の接種方法や時期は後日お知らせします。

(写真はイメージです)

●接種費用は **無料(2回接種)**

●接種の予約受付開始は **4/26(月) 9:00~**

●予約・問合せはコールセンターから

☎ 0120-752-770 (フリーダイヤル)

※コールセンターは平日午前9時~午後5時

●インターネットからも予約できます

 <https://logoform.jp/form/uq3v/covid19-vaccine>

※インターネットは24時間予約可能



ワクチンの接種方法

▼65歳以上の方(令和3年度中に65歳に達する方を含む)の接種は基本的に**集団接種**により行います。

▼1回目の接種から3週間程度の間隔をおいてから2回目の接種を行います。

▼会場は**いりり火の里**の花ホールです。会場までの移動手段の無い方のために、バスを巡回します。

▼**ワクチン接種は強制ではありません**。本人の同意がある場合に限り接種が行われます。

▼現在、何かの病気で治療中の方や接種に不安がある方は、かかりつけ医等とご相談の上、ワクチンを接種するかどうかお考えください。

入院・入所者の接種

町内の病院・高齢者施設に長期入院・入所されている高齢者の方のワクチン接種は、その施設内で、5月上旬から先行して行う予定です。詳しくは入院・入所している施設にお問合せください。

65歳以上の方のワクチン接種の流れ



4月

①接種の案内郵送
(4/23~)

5月

②接種日時予約

6~8月

③集団接種会場でワクチン接種 (5月下旬~8月)

入院・入所者の接種 (5月上旬~、時期や対象は施設により異なります)

1

郵送される案内を確認

65歳以上の方に、4月23日以降に新型コロナワクチン接種のご案内一式を郵送します。



2

希望の接種日時を予約

案内に記載の接種日時の中から、事前に希望する日時を予約(電話またはインターネット)します。巡回バスを利用したい方は、併せてバスの予約をお願いします。詳しくは、案内をご確認ください。



3

接種日当日、会場で接種

予約した日時に会場にお越しください。来場の際は、マスクを着用し、案内に同封の「接種券」と「予診票」のほか、「健康保険証」「お薬手帳」をお持ちください。



【集団接種会場】 いろいろ火の里 なの花ホール

※ワクチン接種の副反応がないかを確認するため、接種後は会場内で30分程度待機していただきます。

ワクチン接種の副反応

ワクチンの接種後、接種した部位の痛み、頭痛、倦怠感、筋肉痛などの事象が起こる場合があります。また、まれにアナフィラキシー（急性アレルギー反応）の発生事例が報告されています。ワクチンとの因果関係ははっきりと分かっていませんが、接種会場では万一の場合に備え、医療従事者が治療できる体制を整えています。

コールセンターは4月15日から対応

コールセンターでの業務は4月15日(木)から開始しています(予約受け付けは4月26日(月)午前9時開始)。

ワクチン接種に関する問合せ、ワクチン接種の予約受け付けの対応はすべてコールセンターで行っています。役場では対応していませんのであらかじめご了承ください。

○担当 三川町新型コロナウイルスワクチン接種事業プロジェクト班

子ども広場 ひろば

押切小学校
より

凡事徹底 ～一生ものの財産づくりを目指して～

押切小学校では、特別なことに限らず、当たり前のことを当たり前にすることが、生涯を通して豊かな生活につながると捉え、数年前から「凡事徹底」をテーマに掲げて学校づくりを行っています。「一生ものの財産づくり」を目指し、児童と「チームoshinkiri」の全職員がさまざまな取り組みを行っています。

☆「ぶれない生活習慣」を身につける

児童の健康なからだづくりを目指して、年に3回（5月・8月・1月）、生活リズムの振り返り活動を行っています。生活リズムが崩れてしまいがちな長期休み後の1週間を「生活リズム週間」とし、毎日の行動をカードに記録します。

生活リズム週間の前には、養護教諭が全校児童に生活リズムの指導を行います。生活の中で特に気を付けたいこととして、5月はセーブメディア、8月は排便習慣、1月は朝食と、テーマを設けながら取り組めます。保護者の方の協力もあり、児童たちには健康的な生活習慣が身に付いています。

☆自ら進んで働く清掃指導

掃除には、手順を踏まえる、用具を上手に使う、進んで働くなど、主体的に行動するための要素がたくさん含まれています。掃除の時間は縦割り班で活動し、上学年の児童が下学年の児童に教えながら「掃除名人」を目指して学校をきれいにしようと全児童、全職員で取り組んでいます。

☆「いころからだ・おこない」の食育指導

押切小学校では、「いころからだ・おこない」



町長コラム 「誠・心・誠・意」



▲4月1日から稼働している新ごみ焼却施設（鶴岡市宝田）

ごみを減らす努力が大事

4月1日(木)、本町が一般廃棄物の処理を委託している鶴岡市で、新しいごみ焼却施設が稼働を始めました。

新施設の整備にあたっては、一般廃棄物の最終処分場の整備と合わせて、その費用負担について、両市町がより公平・公正に費用を負担し合うため、新たな算定方法を協議してきました。そして、3月26日(金)に、新しい負担金の算定方法を定めた新協定を締結しました。

新協定では、ごみ処理に係る経常的な経費（施設運営負担金）を引き続き負担していくことに加え、新施設の整備に係る投資的な経費（施設整備負担金）を支出する方法に改めました。特に投資的な経費は、本町

の歳出の中でも大きな割合を占めることとなりますが、財政に大きな影響が及ばないよう、他の事業の見直し等を行いながら、健全な財政運営に努めていきます。

さて、単純な話ではありますが、ごみの量が増えると、その処理費用は増えます。なるべくごみ処理に係る費用を抑えるためには、一人ひとりがごみを減らす努力をすることが大切と考えています。

具体的な行動として、ごみのもとになるものを買わない・もらわない「Refuse（リフューズ：断る）」、不要となるものをできるだけ減らす「Reduce（リデュース：発生抑制）」、ものを大切に使い、繰り返し・長く使う「Reuse（リユース：再利用）」、ものを修理して長く使う「Repair（リペア：修理）」、資源となるものを正しく分別し、回収場所に出す「Recycle（リサイクル：再生利用）」といった5つの行動「5R」に取り組むことがごみの減量化につながります。

小さな行動でも、それが積み重なると大きな結果として表れます。町民の皆さまにはこうした意識を持って毎日の生活を送っていただくよう、ご協力をお願いします。

の3つの視点から食育指導を行っています。

「こころ」… 図書との「フボ給食、学校田や畑での米・野菜作り、生産者や調理師との交流給食や感謝の会、町の特産品を活用した郷土料理を取り入れる「ふるさと給食」などを行っています。さまざまなおことに興味を持ち、自分たちで作物を育てる喜び、食材・食事を作ってくれる方々への感謝の気持ち、郷土を愛する気持ちを大切に、食を通して豊かなこころを育みます。

「からだ」… 授業参観を利用した親子食育教室や6年生が行う「子どもがつくるお弁当の日」などの活動により、食べ物の働きを学びます。

「おさない」… 児童会の給食委員会が行う「おはし選手権」や、ランチルームでの縦割り班ごとの給食などで食事のマナーを身につけます。

☆児童会の取り組み

児童会の保健委員会では、児童全員が休まずに学校に来た日を「健康記念日」とする活動や、体に関する問題などを縦割り班で解いて回る健康ウォークラリーなどの活動を行っています。

☆家庭・地域との連携

PTAと連携して行う「押切かれあいウィーク」は、各家庭で児童と保護者の約束を決めて、児童の生活習慣が乱れないように取り組むものです。

昨年度は、ゲームやインターネットの利用を控えるセーブメディアの時間には、積極的に読書をするに取り組みました。今年度は、「あいさつ」「返事」「学習習慣」など、日常生活により直結した凡事徹底を進めています。



三河文化コーナー

俳壇

老妻と主なき夜や雛かざり
寒き日にぬくさ求めて生きるなり

啓蟄や笹巻き届く春の日に

雛かざる亡母の姿の優しさや

伐採の切口白く春の月

藪椿一輪に宿る紅の色

幼子の指より渡る春の花

梅祭りオカメヒョットコ踊り出す



佐藤 誠爾

土田 秀

佐藤 頴

飯野 藤子

春山 夏海

庄野すみれ

小林 裕

工藤ひろし

歌壇

桜咲く友との花見嬉しくて心はずむ日々思い出しおり

隊伍組み北へ向ひし白鳥に達者ですごせと声掛け送る

漸くに寒さ薄れし春彼岸墓前にそなへる花を選びぬ

空模様あやしくなりぬ夕方方あかき椿の一輪咲きて

クロッカス川風受けて岸に咲き朝日に開き夕べに閉じる

冬風の一日待ちわびいか釣りへ沖漬けつくと小波渡の海に

冬過ぎてやよい三月花開き水仙・梅の匂に憩ふ

土田 秀

五十嵐松男

齋藤与次雄

佐藤 頴

佐藤 博政

齋藤 久繁

前田キヌエ

4/1
(木)

社会福祉法人立正会(鶴岡市)が整備・運営
三川りっしょう子ども園が
開園



4月1日(木)、三川りっしょう子ども園(守山正純園長)が三本木地内に開園しました。

同園は幼保連携型認定こども園で、0歳児から5歳児まで60人の園児を受け入れることができます。

4月5日(月)には、入園式が行われ、34人の園児が真新しい園舎での生活をスタートさせました。

守山園長からは「三川の子どものために職員一同精進したい」とごあいさつをいただきました。

バリアフリー化工事を実施

袖東公園が利用しやすくなりました

3/29
(月)



袖東公園のバリアフリー化工事を実施し、駐車場から公園までの段差をなくしたことでアクセスしやすくなったほか、バリアフリーに対応したトイレを新設しました。

また、駐車場に設置した車止めには、町PRキャラクター「みかわん」や、中高生ボランティアサークル来夢来人の皆さんがデザインを考案・制作したイラストを採用しています。

町民同士の交流の場・憩いの場として利用しやすくなった袖東公園をぜひご利用ください。



4/7
(水)

農業への理解を深めて
JAバンクが小学校に
補助教材本を寄贈



4月7日(水)、JAバンクが行う食農教育応援事業の一環として、町教育委員会に補助教材本「農業とわたしたちの暮らし」が寄贈され、贈呈式が行われました。

本町の教育では、各小学校での農業体験や、町の農業について解説した副読本を活用した社会科の授業など、農業を知ってもらう機会を多く取り入れています。こうした機会と併せて補助教材本を活用した授業を展開し、児童たちの関心が高まるよう取り組んでいきます。

6人の新入団員が入団
三川町消防団
辞令交付式

4/4
(日)



4月4日(日)、役場で今年度の三川町消防団の辞令交付式が行われました。式では大滝勝弥団長が昇任した幹部に辞令を交付し、年度初めにあたっての訓示を述べました。今年度は団長以下270人の体制で、町の防災に全力で取り組むことを幹部一同で確認しました。

消防団でも、訓練機会の減少や式典の規模縮小など、新型コロナウイルスの影響を受けているところですが、住民の安全を守るため、対策を万全にしながら訓練等を行う予定です。

三川町地域包括支援センター事業のご案内

ここでは、三川町地域包括支援センターで行っている認知症に関する2つの事業を紹介します。

専門員がサポートします

認知症初期集中支援チームの訪問

この事業は、委託医療機関である三川病院の医師、看護師、精神保健福祉士等でチームを設置し、チーム員による訪問や継続的なサポートを行います。認知症になっても早期診断・早期対応することで、住み慣れた地域で、できるだけその人らしく生活できるよう、本人やその家族に支援を行うものです。

専門職のチームによる支援で、適切な医療や介護サービスの利用につながるまでの支援となります。利用料は無料です。困ったことについては気軽にご相談ください。

内容

認知症の知識を持つ専門員が認知症または認知症が疑われる方の自宅を訪問し、専門医療機関の受診、介護サービスに関する説明や利用支援、認知症の状態に応じた助言等を行います。期間は、医療や介護サービスによる安定的な支援に移行するまでの間で、概ね6カ月以内とします。

○自宅への訪問

町の地域包括支援センターから連絡を受けた三川病院のチーム員2人が自宅を訪問し、本人や家族から認知症の症状や困っていること等についてお聞きします。

○支援方針に沿ったサポート（継続訪問）

初回訪問の結果をもとに支援方針を決定し、本人の症状や家族の状況にあった継続的な支援を行います。

対象となる方

自宅で生活している40歳以上の方で認知症または認知症が疑われる方で、次のいずれかに該当する方

①医療サービス、介護サービスを受けていない方、または中断している方

- ・認知症の臨床診断を受けていない、または中断している
- ・継続的な医療サービスを受けていない
- ・適切な介護サービスに結びついていない

②医療サービス、介護サービスは受けているが、認知症による症状が強く、どのように対応してよいのか困っている方



正しく認知症を学ぼう

認知症サポーター養成講座

認知症サポーターとは、認知症を正しく理解し、認知症の方や家族を温かく見守る応援者のことです。

本町でも、認知症を正しく知ってもらうために認知症サポーター養成講座を実施しており、受講を希望する団体等を募集しています。講座は、町内会での健康まつりやサロン、小学校の授業などの機会に開催しています。

身近なグループで認知症について一緒に学び、理解を深めましょう。

○開催時期 5月～令和4年3月

○時間 約1時間～1時間半

○内容 「認知症とは」「認知症の方への接し方」などの講話、寸劇・紙芝居等による説明

○問合せ先 三川町地域包括支援センター（役場健康福祉課内） ☎35-7031





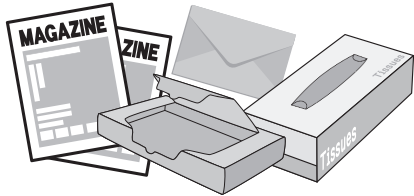
みかわ環境つうしん

Mikawa Environment Newsletter

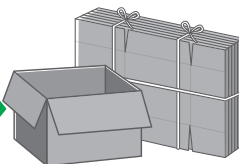
【今月のテーマ】
～資源のリサイクルは、ワクチンの
購入等に活用されています～

皆さまの身近にある「雑がみ」や「ペットボトルのふた」は、リサイクル（再資源化・再利用）できる貴重な資源です。ごみとして捨てずに、各町内会や子ども会などが実施する資源回収や、三川町公民館前に設置している資源リサイクルステーションへの持ち込みにご協力をお願いします。

○雑がみ



紙のある紙製容器包装の箱や袋、ティッシュペーパーの箱、お菓子の箱、パンフレットやカレンダー、包装紙や紙袋、封筒やはがきなど



雑がみは段ボールなどにリサイクルされます



資源リサイクルステーションは毎週日曜日の午前中に開設しています

注意すること 金属やビニールは取り除いてから出してください。

○ペットボトルのふた

回収したふたは「エコキャップ」として「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」に寄附（令和2年度実績：309.1kg（約77人分のポリオワクチン相当））しており、発展途上国でワクチンを必要とする子どもたちへのワクチン購入費などに活用されています。役場建設環境課でも回収しています。

注意すること

シールなどは剥がし、アルミや鉄などの金属類が混入しないようにしてください。

【ごみ収集量実績】	3月収集量	
	R2年度(R元年度)	対前年度増加率
も や す ご み	134.47t (121.00t)	11.13%
プラスチック製容器包装類・ペットボトル	4.60t (3.32t)	38.55%
び ん ・ 缶	4.50t (4.38t)	2.74%
金 属 ・ そ の 他	3.40t (2.31t)	47.19%
廃蛍光管・廃乾電池等	0.18t (0.19t)	▲5.26%
合 計	147.15t (131.20t)	12.16%

○問合せ先 役場建設環境課 環境整備係 ☎35-7036

○期間 4月下旬～5月上旬

赤川の清流に架かるつり橋を渡った先に、約2ヘクタールの県内でも有数の広さを誇るかたくり園が広がっています。見頃を迎えると園内は紫色のかれんなかたくりの花でいっぱいになります。里山に春を告げるかたくりの花を見に、ぜひお越しください。

下田沢かたくり園開園

☎43-3547

○問合せ先 あつみ観光協会

加型)、桜のライトアップほか

子舞、念珠関辨天太鼓、花笠（参加型）

○内容 お祭り屋台、熊野神社獅子舞

○会場 あつみ温泉街（鶴岡市湯温泉）

○時間 午後4時～9時

○期間 4月21日（水）～23日（金）

あつみ温泉せせらぎ夜桜まつり

鶴岡市



☎0234-42-2282

○期間 4月18日（日）まで
○時間 午前9時～午後5時
○問合せ先 カートソレイユ最上川（庄内町連枝字新割）

「春のファン感謝ウィーク」開催中
庄内町にお住いの方以外にも、期間中はお得な町民料金で利用できます（対象カート…スポーツカート、レジャーカート。コース占用の場合を除く）。

カートソレイユ最上川へ遊びに出かけよう！

庄内町

○問合せ先 酒田市役所交流観光課 観光戦略係
☎0234-26-5759

※露店の出店、イベントはありません。公園内での飲酒を伴う宴会などは自粛をお願いします。

○内容 千石船のライトアップ、ぼんぼり点灯（午後9時まで）

○会場 日和山公園（酒田市南新町）

○期間 4月18日（日）まで

○時間 4月18日（日）まで

○問合せ先 鶴岡市朝日庁舎産業建設課
☎53-2120

○内容 千石船のライトアップ、ぼんぼり点灯（午後9時まで）

○会場 日和山公園（酒田市南新町）

○期間 4月18日（日）まで

○時間 4月18日（日）まで

○問合せ先 鶴岡市朝日庁舎産業建設課
☎53-2120

○内容 千石船のライトアップ、ぼんぼり点灯（午後9時まで）

○会場 日和山公園（酒田市南新町）

○期間 4月18日（日）まで

○時間 4月18日（日）まで



お知らせ
Information
2021 April

4

町からのお知らせ



菜の花まつり中止のお知らせ

例年5月5日(祝)に開催している菜の花まつりは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、昨年到现在も開催を中止します。
また、菜の花むすめ撮影会、菜の花写真コンテストも中止します。

○問合せ先 三川町観光協会

☎66-4656

「PayPay」「LINE Pay」で町税等を納付できます

本町では、納付者の利便性の向上

を図るため、今年度から新たにスマートフォン決済アプリを利用したサービスを開始します。

○利用できる決済アプリ

- ・PayPay (請求書支払い)
- ・LINE Pay (請求書支払い)

○利用方法

- ① 決済アプリをスマートフォンにインストール
 - ② アプリを起動し、納付書に記載のバーコードを読み取る
- 対象の町税・料金等

◆町税 個人町民税・県民税(普通徴収)、固定資産税、国民健康保険税

※軽自動車税(種別割)は、決済アプリで納付できません。

◆料金等 後期高齢者医療保険料(普通徴収)、保育所保育料、幼稚園保育料、町営住宅使用料、上下水道料金

○注意事項

次の場合は決済アプリで納付できません。

- ・納付書1枚あたりの金額が30万円を超えるもの(上下水道料金(LINE Pay 請求書支払いの場合)は5万円以上)
- ・バーコード印字の無い納付書

破れたり、汚れたりしてバーコードが読み取れないもの
・納付書に記載の納期限を過ぎたもの

○問合せ先

◆町税等の納付に関すること

役場会計課 出納係

☎35-7037

◆上下水道料金の納付に関すること

鶴岡市上下水道部 お客さまセンター
☎23-7609

軽自動車税(種別割)納税
通知書を送付します

4月中旬に今年度の軽自動車税(種別割)の納税通知書を送付しますので、期限内での納付をお願いします。

◆対象となる車両

軽自動車、原動機付自転車、小型特殊自動車、二輪の小型自動車

◆税の口座振替

税の納付については、口座振替をお勧めしています。役場町民課または最寄りの金融機関で手続きできます。

◆口座振替の方の納税証明書

5月中旬に納税証明書を郵送します。送付前に車検等で納税証明書が必要な方はお問合せください。

○問合せ先 役場町民課 税務係

☎35-7026

運転免許自主返納支援事業
のお知らせ

運転免許をお持ちの方が、体力や視力の低下などの理由で自主的に運転免許を返納した場合、本町では、次のとおり支援を行っています。希望する方は、役場総務課に申込みください。

○対象者

すべての運転免許証を自主返納した町民の方(運転免許証の有効期限が過ぎて失効した場合は、対象となりません)

○支援内容

- ① 田田入浴回数券(12回分)または観光協会味だより(1回分)の贈呈
- ② 運転経歴証明書交付手数料の負担

○申込みに必要なもの

申請による運転免許証の取消通知書(①②)、運転経歴証明書(②のみ)、振込用口座番号の分かるもの(②のみ)

○申込み期限 全ての運転免許証を自主返納後1年以内

○申込み・問合せ先 役場総務課 危機管理係
☎35-7010

若者のパスポート取得を支援します

若者がパスポートを取得する際の経費の一部を補助します。

○補助対象者 次の①から③の項目全てを満たす方

①平成4年4月2日から平成15年4月1日までに生まれた方

②補助金の交付申請時において、三川町に住民登録されている方

③令和3年4月1日から令和4年2月28日までに発行され、山形県内の旅券取扱窓口で交付を受けたパスポートをお持ちの方

※ただし、記載事項変更旅券を除く。

○補助金額 5,000円

○補助対象人数 先着5人(予定)

○手続き方法 申請書(兼)請求書に、パスポートの写し(顔写真記載のページ)と発行官庁記載のページを添付して提出してください。

※令和3年3月1日から3月31日までに発行され、山形県内の旅券取扱窓口で交付を受けたパスポートをお持ちの方も補助対象となる場合があります。補助対象者の要件など、詳細は町ホームページをご覧ください。

○問合せ先 役場企画調整課 企画調整係
☎35-7013

個人情報保護と情報公開の実施状況のお知らせ

◆個人情報保護に係る実施状況

令和2年4月1日から令和3年3月31日までににおける本町の個人情報保護に係る実施状況は次のとおりでした。

- ・個人情報開示請求件数 0件
- ・個人情報訂正請求件数 0件
- ・個人情報正申出件数 0件
- ・審査請求件数 0件

◆情報公開の実施状況

令和2年4月1日から令和3年3月31日までににおける本町の情報公開の実施状況は次のとおりでした。

- ・情報公開請求件数 4件
- ・情報公開件数 4件
- ・情報非公開件数 0件
- ・(うち該当情報なし) 0件
- ・審査請求件数 0件

○問合せ先 役場総務課 総務係

☎35-7009

特別児童扶養手当をご存じですか

精神または身体に障害を有する20歳未満の方で、その障害の程度が、基準に該当するものと認められた児童を監護している父または母、もしくは父母にかわって養育している方に対し支給される手当です。

※障害の状況により該当しない場合や、所得により手当の支給が制限される場合があります。

※手当を受けるには、障害認定診断書を添えて、役場健康福祉課に申請が必要です。

○申請・問合せ先 役場健康福祉課 福祉係
☎35-7030

マイナンバーカードの申請受け取り・電子証明書更新手続きのご案内

○マイナンバーカードの申請方法

次のいずれかの方法で申請できます。詳しくは、お問合せください。

①オンラインで申請

スマートフォン等で申請書に記載のQRコードを読み取って申請できます。

②郵送で申請

申請書に顔写真を貼り付けて、郵送してください。

③役場町民課 住民係で申請(予約制)

申請に必要な顔写真は手続き時に無料でお撮りします。

○マイナンバーカードの受け取り

マイナンバーカードは、申請してから発行までに1カ月ほどかかります。また、申請方法によって受け取り方法が異なります。

①②の方法で申請した方

交付の準備ができた方に交付通知

書を郵送します。通知書の記載内容に従い、役場町民課 住民係で受け取ってください。受け取り時にはマイナンバーの通知カードが必要です。

③の方法で申請した方

マイナンバーカードを本人限定受

取郵便で自宅に郵送します。

○電子証明書の更新

マイナンバーカードに格納されている電子証明書の有効期限は5年です。

有効期限を迎える方に対し、有効

期限の2〜3カ月前を目途に有効期限通知書が郵送されます。通知書の記載内容に従い、役場町民課 住民

係で更新手続きを行ってください。

※更新の手続き時には、マイナンバーカードの交付手続き時に設定した暗証番号が必要です。不明な場合は、手続き時に申し出てください。

○窓口ナイトサービスをご利用ください

毎月第2・第4金曜日は町民課窓口の業務を午後7時まで延長しています。

マイナンバーカードの申請(最終受付時間午後6時)、受け取り、電子証明書の更新の手続きも行っていますので、ご利用ください。

なお、窓口ナイトサービスでマイナンバーカードに関する手続きを

希望の方は、事前に役場町民課住
民係に連絡の上、時間に余裕を持っ
てお越しください。
○問合せ先 役場町民課 住民係
☎35-7025

**東北ディスプレイーションキャン
ペーン(東北DC)開催中**

東北DCは、東北6県の自治体や
観光関係者とJR6社などが一体と
なって行う大型の観光キャンペーン
です。震災から10年の節目に、各県
の力をかけ合わせて東北の大きな力
にし、東北の魅力を国内外に発信す
ることによって東北観光のブラン
ド化を推進します。

詳しくは、ホームページ (<https://www.tohokukanko.jp/dc/>) をご覧く
ださい。

○期 間 9月30日(木)まで
○問合せ先 役場産業振興課 商工
観光係 ☎35-7015

その他のお知らせ



酒田市無料法律相談

三川町民も相談できます。申込時
に相談の概要と住所、氏名をお知ら
せください。秘密は厳守します。
○日 時 5月7日(金) 午後1時30

分々4時30分
○定 員 先着6人
○内 容 法律に関する相談(本人
のことに限る)
○相談員 尾形 稔 弁護士
○申込み開始日 4月23日(金) 午前
8時30分
※電話で申込みください。
○会場・問合せ先 酒田市まちづく
り推進課 市民相談室
☎0234-26-5726

エンジョイ金峯山登山

○日 時 5月14日(金) 午前9時30
分〜午後3時
○対 象 どなたでも
○定 員 先着20人
○参加費 20円(保険代)
○申込み締切り 5月11日(火)まで
※電話で申込みください。詳しくは
ホームページ (<https://www.asoviva.jp/>) をご覧ください。
○会場・申込み・問合せ先 山形県
金峰少年自然の家(鶴岡市高坂)
☎24-2400

応急手当普通救命講習

○日 時 5月16日(日) 午前9時30
分〜午後0時30分
○会 場 鶴岡市消防本部(鶴岡市
美咲町)

○内 容 成人に対する心肺蘇生法
(普通救命講習Ⅰ)
○定 員 20人
○受講料 無料(テキスト代別途)
○申込み期間 4月18日(日)〜5月9日(日)
○申込み・問合せ先 鶴岡市消防署
☎22-8331

**法定相続情報証明制度各種登記の
手続きは事前予約をお願いします**

法務局では、相続登記や預金の相続
の際に利用できる「法定相続情報一
覧」の写しを無料で交付しています。
この一覧図は、申請される方からの申
し出により法定相続人が誰であるかを
登録し、証明するものです。

この証明の手続きや、相続登記をは
じめとする各種登記の手続きは、お待
ちいただくことの無いよう事前予約制
としていますので、手続きを希望され
る方は予約をお願いします。
詳しくは、ホームページ (<http://houmukyoku.moj.go.jp/yamagata/>) をご覧いただくか、お問
合せてください。

○予約・問合せ先 山形地方法務局
鶴岡支局 ☎22-1003

※催し物等に参加される際は、マスク着用や
手指消毒などの感染症対策にご協力をお願
いします。また感染状況により中止・延期
などの場合がありますので、あらかじめご
了承ください。

広 告

「田の宿」内 和食処 **なな味**

春の彩り御膳 2,500円 ※ご飯なし

お持ち帰り・お届け弁当

季節の9種 ~こはる~ 1,500円 ※ご飯なし

特製鶏の内弁当 1,000円

チキン南蛮弁当 1,000円

山形牛 すき焼き弁当 1,000円

無料配達 10個以上のご注文、または10,000円以上から三川町内は5個から受け付けます。

期間限定 ~5/31

ご飯なしのお料理に
バラちらし 600円
白飯 200円

お弁当 お持ち帰り特典
2,000円以上ご注文の方へ
田田無料入浴券プレゼント

●2日前まで(1件につき2個~)のご注文をお願いします。

和食処なな味 ご予約 **66-4150** いろいろ火の里

ハピネスモール

心と体にやさしいおやつ **Sunnyplace**

プチマルシェ開催 4月17日(土)

enju ・デニムバッグ、小物	Rikko ・似顔絵(2名まで)	Sunnyplace ・米粉入りもちり食パン ・米粉100%のパンラフフォン ・焼き菓子
---------------------------	----------------------------	--

1F サニープレイス ⑨モール北側入口

1F サニープレイス
●営業日 毎週土曜、第1・3・5週目の火曜日
●営業時間 12:00~17:00

イオンモール三川 TEL 0235-68-1600 <http://www.aeon.jp/sc/mikawa/>

表・紙・の・写・真



町立小・中学校で入学式

表紙の写真は、4月8日(木)に東郷小学校の校庭で撮影したものです。

この日は町立小・中学校で入学式が行われました。17人の新生が入学した東郷小学校では、ピカピカのランドセルを背負った新生が元気よく登校し、親子で写真撮影をする光景が見られました。

例年よりも桜の開花が早かった今年は、校庭に咲いた桜が、入学式という新生の晴れ舞台に華を添えてくれました。

やまがた子育て応援パスポート
電子画像のダウンロードは
お済ですか?



○協賛店で子育て世帯がパスポートを提示すると、各種割引・優待サービスや乳幼児連れの外出行支援・応援サービス等を受けることができます。右上のステッカーを掲示している店舗で使えます。

○パスポートの交付対象は、「18歳未満の子どもまたは妊婦のいる家庭」です。

○電子画像は、県ホームページから専用の申請フォームにアクセスしてお使いのスマートフォンに保存または印刷してお使いください。



※パスワード入力が必要です。

※パスワードは、対象者に市町村窓口で配布するチラシに記載されています。

○電子画像を利用できない家庭には、役場健康福祉課 家庭支援係(☎35-1707)で紙のパスポートを配布しています。

※詳しくはホームページをご覧ください。→

○問合せ先

山形県しあわせ子育て政策課
☎023-630-2668



広告

見学・
お問い合わせ
お気軽に
どうぞ

習字の楽しさを一人でも
多くの人に伝えたい。
そんな想いで楽しく
指導しています。

お習字教室へ行こう!
キャンペーン実施中



★ご入会の方に★
お習字道具
プレゼント



大瀧 しのぶ
れいこう
(雅号:黎光)
三川町東沼在住
13歳・8歳・6歳の
ママです

場所 みかわ会館
(みかわ郵便局向い)

日時 水曜日 15:00~18:30
木曜日 16:00~18:30
土曜日 9:00~11:00
14:00~16:00 NEW

大瀧 習字教室
☎080-1859-0117

お問い合わせは LINE@からも

スマホで教室の様子が見られます!!
「大瀧習字教室」で検索!



LINE@



OTAHI.SHUJI
Instagram

広告募集中

申込方法や掲載料についてなど、詳しくはホームページをご覧ください。ただか、お問合せください。



○問合せ先

役場企画調整課
企画調整係
☎35-7013

<p>〈広告の規格〉 3種広告</p>	<p>〈広告の規格〉 1種広告</p>
<p>〈広告の規格〉 2種広告</p>	

そろばん教室

生徒募集



わかりやすく
おしえます

計算に強くなろう!

●押切教室 毎週 火・土曜日 芝田美恵(旧姓:吉田) 珠算教育士 珠算教育段位十段

吉田珠算学園 三川町押切中町・赤い橋近く(幸栄堂さん裏)
☎66-4624・080-6007-4728

あの頃のみかわ

今から25年前のみかわ【平成8年(1996年)4月】

このコーナーは、過去の広報を振り返り、当時の三川を紹介するコーナーです。今回は、今から25年前の平成8年4月に発行された広報です。表紙の写真は、押切保育園の入園式の様子です。

本町にはもともと横山・東郷・押切の各地区に町立保育園があり、各地区それぞれで特色のある保育を行っていましたが、平成13年度に3地区の園を統合し、みかわ保育園・幼稚園が開園しました。また、現在では平成21年度にいのこ保育園、今年度は三川りっしょう子ども園が新たに開園するなど、町内には民間の園も増えてきています。

今後は、公立と民間の3園が連携を図りながら、時代の流れとともに多様化する保育ニーズに対応していきます。

【平成8年3月末日現在の総人口：8,303人】



新規採用職員紹介



たかはし あやみ
高橋 愛実

(袖東町)

町民課 住民係



ほし たかと
星 貴登

(酒田市)

健康福祉課 健康係



せお なほ
瀬尾 菜穂

(鶴岡市)

健康福祉課 健康係 保健師

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

令和3年3月届出(敬称略)

佐藤 積(96歳) 天神堂	菅原八重子(92歳) 押切下町
鈴木ふじ子(100歳) 押切下町	小花おいく(94歳) 横 川
佐藤 保雄(78歳) 猪 子	前田 怜治(80歳) 猪 子
沓澤 初女(91歳) なの花荘	飯田 イク(98歳) 横 山 下
山口 幸子(92歳) 加 沼	佐藤 久治(89歳) 助 川
奥田 雪子(95歳) 横 川	加藤 芳(68歳) 押切中町
南葉 榮一(90歳) 成田新田	加藤さくめ(88歳) 対 馬
山口 多紀(53歳) 横 山 中	伊藤 とし(93歳) 横 山 上
石川 秀子(88歳) 横 川	

ご家族等から広報掲載の承諾をいただいた方のみ掲載しています。

ふるさと応援寄附金ありがとうございました

3月分 1,501人

お名前と住所地は町ホームページで公開していますので、ご覧ください。

ご寄附ありがとうございました

地域福祉活動に役立ててほしいと、次の方から三川町社会福祉協議会にご寄附いただきました。

折原 珉右衛門様(押切中町)
吉村 俊子様(猪子)

◁ 人口の動き ▷
(令和3年3月末日現在)
() 内前月比

■人口数/7,361人(減20人) 男3,606人(減7人) 女3,755人(減13人)
増減の内訳 ・転入38人・転出▲49人・出生8人・死亡▲17人
■世帯数/2,460戸(減1戸)

伊藤さんの活動を
振り返ります！



主な活動①

情報発信

ラジオ

酒田ハーバーラジオ、エフエム山形の計3番組に出演し、地域話題を発信。
酒田市の地域おこし協力隊と共に行う「庄内もっけだレディオ!」の放送は100回を超えました。



▲庄内もっけだレディオ収録の様子

SNS

個人と町観光協会のSNS(インスタグラム、フェイスブック、ツイッター)を活用して、町の話や日常の出来事など、さまざま情報を発信しました。



▲「三川ポーズ」で写真撮影が恒例に

主な活動②

イベント企画・運営

学びBAR

「地域交流×生涯学習」をテーマに行ったイベント「学びBAR」では、毎回さまざまな分野で活躍されている方を講師に招き、町内外の参加者と共に交流を深めました。



▲芥川賞作家羽田圭介さんを招いてトークライブを開催（令和元年9月）

三川町地域おこし協力隊 伊藤秀和さん

3年間ありがとう！

平成30年5月から本町の地域おこし協力隊として活動してきた伊藤秀和さんが4月末をもって退任します。本町初の地域おこし協力隊となった伊藤さんは町のPRのほか、個人としても町の情報発信やイベントの企画運営などに取り組みました。これまで伊藤さんが行ってきた主な活動を振り返ります。

広報みかわへのコラムの連載のほか、さまざまな媒体で町的话题をPRしました。

ブログ

自身のブログやメディアへの寄稿で三川町を中心にヒト・モノ・コトを発信。特に「ヒト」を紹介するブログの記事「ミカワビト」では、計17人にインタビューを行いました。



▲伊藤さんのブログ

移住

移住希望者向けの相談会やオンラインセミナーに積極的に参加。自身も都市部から地方への移住者として体験談を語ったり、移住希望者へのアドバイスを行ったりしました。



▲東京都で行われた山形暮らし大相談会（令和元年12月）

「町おこし」につながるさまざまなイベントを企画し、町内外を問わず、多くの方々との交流を図りました。

地域資源の掘り起こし

地域の資源を活用した交流の場づくりとして、昨年度に赤川でのカヌーツーリングを実施。今後こうした活動ができないか、検討しています。



▲はじめての赤川カヌーツーリング（令和2年10月）

改めてよろしくお願ひします。

私は協力隊として「みかわのファンづくり」で関係人口を増やすために力を入れて取り組んできましたが、その活動はこれまで経験したことのない、やりがいにあふれたものでした。皆さまからはあたたかく活動を見守っていただき、感謝しかありません。3年間本当にありがとうございました。

3年前、三川町初の地域おこし協力隊ということで、お会いする皆さまから歓迎していただき、うれしく感じたのを昨日のことのように思い出します。三川町での生活は、人と人の距離が近く、おいしい食材や豊かな自然環境もあり、心身ともに充実していました。

地域おこし
協力隊の
つぶやき
最終回



▲今後の伊藤さんの動向はブログ・SNSをチェック！